



自分の限界に挑戦する力 ～モーグル 堀島選手の姿に学ぶ～

吹く風に春の暖かさを感じる季節となりました。今日で令和7年度の授業が終わります。皆さん、進級おめでとうございます。

2年生はいよいよ最高学年として、五泉北中学校の「顔」となり、学校全体をリードしていくこととなります。また1年生は中堅学年として、新3年生と共に新入生の良き手本となり、学校を支える存在になってほしいと願っています。

さて、記憶に新しい先月のミラノ・コルティナ冬季オリンピック。皆さんの心に最も残ったシーンは何だったでしょうか。

私が強く感銘を受けたのは、モーグルの堀島行真（ほりしま いくま）選手の姿です。男子デュアルモーグルで、転倒しながらも後ろ向きのままフィニッシュラインを通過した、あの執念のゴールを見せた選手です。

彼は、昨年3月の世界選手権で左足の靭帯を損傷するという大怪我を負いました。リハビリを経て練習を再開できたのは、わずか半年前の夏だったそうです。オリンピック直前になっても「まだスピードへの恐怖心がある」と語っていたほどの状態でした。

しかし、本番で彼が見せたのは、決して「守りの滑り」ではありませんでした。誰よりも難易度の高い技に挑み続ける、まさに「自分の限界への挑戦」そのものでした。あきらめずにゴールを駆け抜けた彼の姿からは、「失敗を恐れることよりも、挑戦しない自分を恐れる」という強い信念を感じました。

私は、彼の果敢な滑りと、レース後のインタビューで見せた清々しい表情を見て「実は、限界を決めているのは才能や環境ではなく、自分自身の『心の壁』ではないか」と思ったのです。

「これ以上は無理だ」ですとか「自分には向いていない」と壁を作るのは簡単です。しかし、堀島選手のように自分の可能性を信じて一歩先へ踏み出す勇氣、そしてその積み重ねこそが今の自分には想像もできないような「新しい景色」を見せてくれるのだと思うのです。

そこで、今日、皆さんに一番伝えたいことは「限界という言葉は、諦める理由にしないでほしい」ということです。

「自分はこれくらいだ」と決めつけてしまうのは、自分の未来を自分で狭めてしまうのと同じです。その壁を、ほんの少しだけでいい、グッと押し広げてみてください。その「わずかな一歩」の積み重ねが、1年後、2年後の皆さんを、想像もしなかった大きな成長へと導いてくれるはずです。

明日から春休みが始まります。これは単なる休みではなく、次のステージへの助走期間です。今の自分を少しだけ超えるための「小さな挑戦」を何か一つ、心に決めて始めてみてください。

4月、一回り大きく自信に満ちた表情の皆さんと再会できることを楽しみにしています。

凜とした空気の中、感動の卒業式が行われました

春の訪れを感じる凜とした空気の中、感動的な卒業式が行われました。

ご来賓、保護者の皆様、そして在校生や教職員に見守られながら、88名の卒業生が堂々とした姿で学び舎を巣立っていきました。

中学校生活で培った力を糧に、それぞれの新しいステージで思う存分自分らしさを発揮してください。皆さんのますますの活躍を、教職員一同心よりお祈りしています。



2年生が修学旅行に行ってきました 関東方面 3月17日(火)～19日(木)

関東方面への修学旅行を実施しました。都内各地での研修では、五泉とは異なる環境に戸惑いながらも、自分たちで計画を遂行し、困難を乗り越える逞しさが見られました。4月から最上級生として北中をリードするにふさわしい立派な姿であり、今後のさらなる活躍が楽しみになる3日間でした。



6年生が体験授業で来校しました 3月6日(金)

校区内3小学校の6年生が当校に集まり、体験授業を実施しました。この活動は、4月からの新生活に対する不安を解消し、中学校の雰囲気慣れてもらうことを目的としています。当日は当校教員による社会、英語、美術、体育の4教科の授業を行いました。初めて入る中学校の教室や、専門教科の先生による授業に、最初は緊張した面持ちの児童たちでしたが、いざ活動が始まると表情が和らぎ、終始笑顔で声を掛け合いながら取り組む姿が大変印象的でした。



〈栄光の記録〉 (敬称略)

新潟県総合体育大会スローガン 優秀賞 T・K (1)

「 煌めけ！努力の結晶 輝け！君の青春 」